



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8938 URL http://www.glome-holdings.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理室 室長 (氏名) 涌井 弘行 TEL 03-5545-8101  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,677	△63.9	50	△93.2	△322	—	△672	—
2020年3月期第3四半期	7,410	△45.7	740	△48.2	462	△75.0	102	△91.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △757百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 73百万円 (△91.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△116.74	—
2020年3月期第3四半期	18.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,731	6,656	76.3
2020年3月期	11,127	3,708	33.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,663百万円 2020年3月期 3,721百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,322	△59.9	150	—	△110	—	△188	—	△28.60

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2021年1月29日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）－ 除外 2社（社名）株式会社LCパートナーズ、メディカル・アセット投資法人

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	9,051,000株	2020年3月期	5,560,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	540株	2020年3月期	478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,763,010株	2020年3月期3Q	5,559,922株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による社会経済活動の停滞から回復しておらず、企業収益の悪化や個人消費の減退等引き続き不透明な状況にあります。

医療業界におきましては、政府による対策は進められておりますが、感染者の増加に歯止めがかからず、医療現場においては関係者の疲弊や医療体制の逼迫が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先に、生産性を可能な限り維持しつつ、厚生労働省や都道府県等から発信される情報を逐一把握しながら、病院関連事業に対する改善・対策に取り組んでおります。

売上高2,677百万円(前年同四半期比△63.9%減収)、営業利益50百万円(前年同四半期比△93.2%減益)、経常損失は322百万円(前年同四半期経常利益462百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は672百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益102百万円)となりました。

主な変動要因ですが、売上及び営業利益が前年同四半期と比較して大きく減少しておりますが、前年同四半期は販売用不動産の売却が多数あったことによるものであります。経常損失については持分法適用会社である株式会社DAホールディングスからの持分法による投資損失362百万円等を営業外費用に計上したことによります。親会社株主に帰属する四半期純損失についてはClay Street Capital, Inc.の清算に係る、関係会社清算損失引当金繰入額255百万円を特別損失に計上したことによります。

また、2020年12月1日に連結子会社の株式会社LCレンディングの株式譲渡が完了しております。詳細については2020年11月20日付「連結子会社の異動(株式の譲渡)に伴う連結子会社からの債権譲受及び債権放棄に関するお知らせ」をご覧ください。

セグメントごとの経営成績は、次の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①病院関連事業

当第3四半期には、アライアンス先病床数は150床増加し、今年度累計では3,963床となっております。新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先し、医療法人の役員、患者様、当社役職員の安全面に留意する中、アライアンス先の獲得に遅れが見られます。

第1四半期より債権管理規程を大幅に一新し、より厳格な債権管理を実施しており、今年度累計で貸倒引当金繰入額26百万円(ネット)を販売費及び一般管理費に計上しております。結果として、売上高1,077百万円、営業利益243百万円となりました。

また新債権管理規程に基づき、病院関連事業に含まれる一般社団法人への基金について今年度累計で出資金評価損48百万円を特別損失に計上しております。

#### ②不動産関連事業

当第3四半期連結累計期間では保有不動産の売却は2物件と変わらず、当第3四半期は既存の賃貸収入等にとどまり、今年度累計では、売上高1,599百万円、営業損失57百万円となりました。

この他に、福島県所在のホテルを保有する非連結SPCに対する貸倒引当金繰入額100百万円を営業外費用に計上しております。また、米国カリフォルニア州所在のClay Street Capital, Inc.の清算に関して、配当決議が終了し、為替換算調整勘定が確定したため、同額を関係会社清算損失引当金繰入額255百万円として特別損失に計上しております。当該損失は為替換算調整勘定が対象で当初174百万円を見込んでおりましたが、円・ドル為替レートの変動(円高)により減少(マイナスの増加)しております。なお、Clay Street Capital, Inc.に関連する決算過程で為替洗替え処理により累計で75百万円の為替差益を計上しております。(本日発表の「(開示の経過)連結子会社の清算及び受取配当金並びに関係会社清算損の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループは2020年12月16日に第三者割当増資を完了し、財務面の強化をいたしました。詳細については、2020年12月16付「第三者割当による新株式発行(現物出資「デット・エクイティ・スワップ」を含む。)の払込完了に関するお知らせ」をご覧ください。

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して21.5%減少し、8,731百万円となりました。主な要因は現金及び預金996百万円、1年内回収予定の長期貸付金458百万円の増加があった一方で、受取手形及び売掛金の499百万円、営業貸付金554百万円、販売用不動産1,136百万円、その他(流動資産)450百万円、長期貸付金621百万円、その他(投資その他の資産)369百万円の減少等によります。

## (負債)

負債は前連結会計年度末に比して72.0%減少し、2,075百万円となりました。主な要因は、短期借入金1,030百万円、1年内返済予定の長期借入金2,216百万円、長期借入金1,216百万円、匿名組合出資預り金611百万円の減少等によります。

## (純資産)

純資産は前連結会計年度末に比して79.5%増加し、6,656百万円となりました。主な要因は、資本金1,850百万円、資本剰余金1,850百万円の増加があった一方、利益剰余金672百万円の減少等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月29日付(本日)「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	945	1,941
受取手形及び売掛金	618	119
営業貸付金	1,428	874
商品及び製品	9	15
販売用不動産	3,723	2,587
原材料及び貯蔵品	0	0
1年内回収予定の長期貸付金	670	1,128
その他	931	480
貸倒引当金	△1,355	△1,342
流動資産合計	6,971	5,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	218	168
機械装置及び運搬具(純額)	0	-
土地	10	10
その他(純額)	37	19
有形固定資産合計	266	199
無形固定資産		
その他	20	11
無形固定資産合計	20	11
投資その他の資産		
投資有価証券	960	593
長期貸付金	2,752	2,130
繰延税金資産	19	19
敷金及び保証金	186	103
その他	695	326
貸倒引当金	△745	△457
投資その他の資産合計	3,868	2,716
固定資産合計	4,155	2,927
資産合計	11,127	8,731

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,480	450
1年内返済予定の長期借入金	3,063	847
未払法人税等	36	75
匿名組合出資預り金	611	-
賞与引当金	35	-
課徴金引当金	53	-
関係会社清算損失引当金	-	255
その他	624	173
流動負債合計	5,905	1,802
固定負債		
長期借入金	1,226	9
繰延税金負債	6	-
資産除去債務	74	76
長期預り敷金保証金	200	168
その他	4	18
固定負債合計	1,513	273
負債合計	7,418	2,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199	3,049
資本剰余金	1,162	3,012
利益剰余金	1,551	878
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,912	6,939
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△190	△275
その他の包括利益累計額合計	△190	△275
新株予約権	-	5
非支配株主持分	△13	△13
純資産合計	3,708	6,656
負債純資産合計	11,127	8,731

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,410	2,677
売上原価	5,349	1,697
売上総利益	2,061	979
販売費及び一般管理費	1,321	929
営業利益	740	50
営業外収益		
受取利息	46	157
受取配当金	0	-
違約金収入	7	-
貸倒引当金戻入額	35	-
賞与引当金戻入額	-	32
役員賞与引当金戻入額	23	-
為替差益	-	75
その他	20	4
営業外収益合計	132	270
営業外費用		
支払利息	144	121
貸倒引当金繰入額	-	74
資金調達費用	51	55
持分法による投資損失	77	362
匿名組合投資損失	31	-
違約金損失	38	3
その他	66	26
営業外費用合計	410	643
経常利益又は経常損失(△)	462	△322
特別利益		
資産除去債務戻入益	117	-
関係会社株式売却益	-	61
その他	-	9
特別利益合計	117	70
特別損失		
固定資産除却損	11	43
関係会社清算損失引当金繰入額	-	255
特別調査費用	-	12
出資金評価損	-	48
その他	-	19
特別損失合計	11	379
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	567	△631
匿名組合損益分配額	204	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	363	△638
法人税等	260	33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102	△672
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	102	△672



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102	△672
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△26	△84
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	-
その他の包括利益合計	△29	△84
四半期包括利益	73	△757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73	△757
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は2020年12月16日付でHK Beida Jade Bird Investments Limited（中文表記：香港北大青島投資有限責任公  
司）から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,850百万  
円、資本準備金が1,850百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,049百万円、資本準備金が  
3,012百万円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

四半期連結会計期間に係る法人税等については、見積実効税率による方法によっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

第3四半期におけるSPCの長期借入金返済状況は、以下の通りであります。

(1) 貸借対照表に計上されている額

1年内返済予定の長期借入金	837
(2) 連結対象SPC借入金残高（9月末時点）	837百万円
(3) 返済	
2020年10月	517
返済合計	517
(4) 実際の2020年12月末SPC連結対象借入金残高	319

（注1）連結対象SPCについては、当社の連結財務諸表は3ヶ月前の数字を取り込んでおります。この為、当社の  
第3四半期末（12月末）の借入金残高は、連結対象SPCの9月末の借入金残高837百万円を反映しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額(注)2
	病院関連	不動産関連	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,078	6,331	7,410	7,410	-	7,410
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	43	43	43	△43	-
計	1,078	6,374	7,453	7,453	△43	7,410
セグメント利益	164	716	880	880	△140	740

(注)1 セグメント利益の調整額△140百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額(注)2
	病院関連	不動産関連	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,077	1,599	2,677	2,677	-	2,677
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	5	5	5	△5	-
計	1,077	1,605	2,682	2,682	△5	2,677
セグメント利益又は損失 (△)	243	△57	186	186	△136	50

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△136百万円には、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△160百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、当社グループの事業活動の実態をより明確にするため、報告セグメントを見直し、これまで「不動産賃貸関連事業」「不動産ファンド事業」「SPC関連事業」のセグメント区分をしておりましたが「不動産関連事業」に集約いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。